

小児科医による児童生徒への授業の実態に関する Web 調査へのご協力のお願い

日本小児科学会は、「小児保健・医療提供体制 2.0」（日児誌 2017；121：2037-2041）をもとに、教育分野との連携を目指しています。健康を守るための医学的知識(救急の基本知識や性教育、命の授業など)を知ることは子ども達の権利であり、また、学校教育の場ですべての児童生徒にそれらの知識を教育することは国民のヘルスリテラシーの底上げにもつながると考えられます。そこには様々な形で小児科医の関与が望まれます。現在、全国各地で多くの医師が実際に児童生徒を対象にした授業に参画している事がわかっていますが、組織的な試みにはなっていません。

そこで日本小児科学会小児救急・集中治療委員会では、「小児科医による児童生徒への授業の実態に関する Web 調査」を計画いたしました。どのような先生方が、どのような内容について、誰を対象に授業を行っているか、またどのような効果があるのか、問題点はないかなどの実態を明らかにし、各方面の理解が得られるのであれば、組織的な取り組みに発展させたいと願っています。本調査結果は学会発表や論文化するなど皆さまにフィードバックするとともに、行政機関や教育関係者と連携したり、学校教育のカリキュラムに医学的知識を組み入れるように働きかけたりする際に、資料として活用させていただく予定です。質問は最大 31 問あり、10～15 分程度で回答できます。

本研究は、日本小児科学会倫理委員会の承認を得ております。調査の最後に同意をいただいた方のみ、個人情報の提供をお願いしていますが、個人情報の入力とは別の入力フォームとし、他の回答内容とは切り離して処理するため、回答者が特定されることはありません。また、得られた個人情報は、日本小児科学会小児救急・集中治療委員会内でのみ共有し、上記目的以外には利用いたしません。子ども達の健康に寄与する重要なデータになると考えますので、ぜひご協力をお願いいたします。

なお、本調査は無記名調査であり、回答から個人が特定されることがないように配慮しております。

Q1. 一度送信した回答は修正できません

☐ 本調査の主旨を理解し、協力することに同意します

【調査項目】

Q2. あなたの職種を教えてください

☐小児科医(専門医) ☐小児科医(専攻医) ☐小児科医(その他) ☐他科の医師 ☐その他(具体的に:)

Q3. Q2で他科の医師と答えた方へ質問です ご専門は何ですか()

Q4. あなたの年齢を教えてください

☐30歳未満 ☐30代 ☐40代 ☐50代 ☐60代 ☐70歳以上

Q5. あなたの勤務形態を教えてください

☐勤務医(常勤) ☐勤務医(非常勤) ☐開業医 ☐その他()

Q6. あなたの主な勤務場所を教えてください

☐大学病院 ☐市中病院 ☐小児医療専門病院 ☐クリニック/診療所 ☐福祉施設(療育施設含む)
☐その他()

Q7. あなたの専門領域を教えてください(複数選択可)

☐総合診療 ☐救急 ☐集中治療 ☐新生児 ☐循環器 ☐神経 ☐心身・精神医学
☐血液・がん ☐アレルギー ☐代謝異常 ☐腎臓 ☐内分泌 ☐感染症 ☐呼吸器 ☐消化器
☐遺伝 ☐臨床薬理 ☐リウマチ・膠原病 ☐免疫 ☐児童虐待 ☐小児保健 ☐小児外科
☐その他()

Q8. 学校教育で医学的な内容を教えることに関する賛否を教えてください

☐賛成 ☐反対 ☐どちらともいえない

Q9. 学校教育で医学的な内容を教えることの問題点や課題と考える点についてご記載ください(複数選択可)

☐授業時間の不足 ☐教員の負担が大きい ☐医師の負担が大きい ☐こども対象の教材不足
☐教員対象の講習・教材が必要 ☐医師対象の講習・教材が必要 ☐学習指導要領への取り込み
☐教育現場との連携・調整 ☐文部科学省など行政との調整 ☐予算の確保
☐その他()

Q10. こども対象の授業・講演の経験の有無について教えてください

☐経験あり→Q11へ

☐経験はないが興味がある Q11へ

☐経験がない、興味を持ってない → 調査は終了です ご協力ありがとうございました

Q11.

現在、小・中学校の学習指導要領に記載されている項目を【】内に示します

これらの項目も含め、学校教育に取り入れると良いと考える医学的な内容がありましたら、下記より選択ください(複数選択可)

【心肺蘇生法、感染症、けがの予防、交通事故の防止、心の健康、性教育、生活習慣病とその予防、喫煙、飲酒、薬物乱用、自然災害と傷害、けがの応急手当、病気の時の対応、がん教育、ワクチン】

☐心肺蘇生法 ☐感染症 ☐外傷・事故の予防 ☐外傷の対応 ☐熱中症 ☐心の健康 ☐命の大切さ
☐出生前診断 ☐脳死・臓器移植 ☐アレルギー・アナフィラキシー ☐性教育 ☐LGBTQ+ ☐神経発達症
☐児童虐待 ☐がん教育 ☐デジタルメディアとの付き合い方・活用法・依存しないための知識 ☐ワクチン
☐栄養・食育 ☐生活習慣病 ☐喫煙・飲酒・薬物乱用 ☐障害児・者医療 ☐医療機関・サービスと活用法
☐健康保険 ☐救急車の利用方法 ☐災害発生時の対応 ☐雷から身を守る対応 ☐火災に巻き込まれたときの対応 ☐服に火がついたときの対応 ☐その他(具体的に:)

Q12. 学校教育で医学的な内容を教える場合、講師は誰が適切と思いますか（複数選択可）

- ☐ 医師が学校に赴く
- ☐ 教師が主、内容によって医師が赴く
- ☐ 教師と医師を含む多職種（薬剤師、救命救急士、保健師、看護師など）
- ☐ 医師が教材（動画、資料など）を提供し教師が授業を行う
- ☐ 教師に任せる
- ☐ その他（ ）

Q13. こどもを対象にした授業・講演の経験について再度チェックをお願いします

- ☐ 経験あり → Q14 へ
- ☐ 経験なし → 調査は終了です ご協力ありがとうございました

Q14. これまでに実施した授業・講演の内容について教えてください（複数選択可）

- ☐ 心肺蘇生法 ☐ 感染症 ☐ 外傷・事故の予防 ☐ 外傷の対応 ☐ 熱中症 ☐ 心の健康 ☐ 命の大切さ
- ☐ 出生前診断 ☐ 脳死・臓器移植 ☐ アレルギー・アナフィラキシー ☐ 性教育 ☐ LGBTQ+ ☐ 神経発達症
- ☐ 児童虐待 ☐ がん教育 ☐ デジタルメディアとの付き合い方・活用法・依存しないための知識 ☐ ワクチン
- ☐ 栄養・食育 ☐ 生活習慣病 ☐ 喫煙・飲酒・薬物乱用 ☐ 障害児・者医療 ☐ 医療機関・サービスと活用法
- ☐ 健康保険 ☐ 救急車の利用方法 ☐ 災害発生時の対応 ☐ 雷から身を守る対応 ☐ 火災に巻き込まれた時の対応 ☐ 服に火がついたときの対応 ☐ その他（具体的に： ）

Q15. これまでに実施した授業・講演の題名があればすべて教えてください（自由記載）

Q16. こども対象の授業・講演のきっかけ・窓口について教えてください（複数選択可）

- ☐ 医療サイドからの働きかけ
- ☐ 学校・教育委員会等、教育サイドからの依頼
- ☐ 行政からの依頼
- ☐ その他

Q17. 上記の授業・講演のきっかけ・窓口について可能であれば詳細を教えてください（自由記載）

Q18. 授業・講演の対象となったこども達について教えてください（複数選択可）

- ☐ 幼児 ☐ 小学生 ☐ 中学生 ☐ 高校生 ☐ その他（具体的に： ）

Q19. 授業・講演を行った場所はどこですか（複数選択可）

- ☐ こども園/保育園/幼稚園 ☐ 学校 ☐ 医療機関 ☐ その他（具体的に： ）

Q20. これまでに授業・講演を実施した回数を教えてください

- ☐ 1回 ☐ 2～5回 ☐ 6～10回 ☐ 11回以上

Q21. 授業に対応した時間帯について教えてください

- ☐ 常に勤務時間内に行う ☐ 勤務時間外に行ったことがある ☐ 常に勤務時間外に行う ☐ その他（ ）

Q22. 授業に対する報酬はありましたか

- ☐ なし ☐ 時間外のみ受け取っている ☐ 時間帯にかかわらず受け取っている ☐ その他（ ）

Q23. こども達の反応はいかがでしたか

- ☐ とても興味を示した ☐ ある程度興味を示した ☐ わからない ☐ あまり興味を示さなかった ☐ 興味を示さなかった

Q24. 学校側の対応はいかがでしたか

- ☐ とても協力的だった ☐ ある程度協力的だった ☐ わからない ☐ あまり協力的ではなかった ☐ 非協力的だった

Q25. 授業を行うにあたって困難を感じる／感じたことを教えてください（複数選択可）

- ☐ 教材の作成 ☐ 用具の確保（心肺蘇生講習でのマネキンなど） ☐ 協力者の確保 ☐ 性教育の内容

- ☐ こども達や家族の背景（がん患者がいるなど）への配慮 ☐ 個人情報の扱い
☐ こども達の学年と適切な授業のレベル ☐ 学校との連携方法 ☐ 学校現場に関する知識不足
☐ 時間の確保 ☐ 報酬がなかった ☐ 教育現場への移動手段 ☐ 教育現場に出向くための院内手続き
☐ その他（ ）

Q26. 上記以外に授業・講演を行ってよかった点について教えてください（自由記載）

Q27. 上記以外に授業・講演にあたって、工夫が必要だった点や問題点がありましたら教えてください（自由記載）

Q28. 最も印象に残っている授業について、対象と概要を教えてください（自由記載）

Q29. 授業・講演を行うにあたって日本小児科学会会員に伝えたいことがありましたら教えてください（自由記載）

Q30. 学校教育で医学的な内容を教える活動を推進して行くため、教育との連携を進めること、系統的で良質な教材を作成することなどを目的に二次調査を検討しています

二次調査に協力していただける方は所属、お名前、メールアドレスをご入力ください

いただいた個人情報は、日本小児科学会 小児救急・集中治療委員会内でのみ共有し、この活動の目的以外には利用いたしません

また、Q29 までの回答内容とは切り離して処理いたしますので、Q29 までの回答者が特定されることはありません

個人情報提供に

☐ 同意する 調査は終了です 次のページで表示される URL をクリックして入力をお願いします。

☐ 同意しない → 調査は終了です ご協力ありがとうございました

[同意するをクリックすると次の画面に移動]

調査は終了です。以下の URL をクリックして入力をお願いします

<https://jp.surveymonkey.com/r/SGD3S3V>

ご協力ありがとうございました

<別のサーベイモンキー>

Q31. 所属、お名前、メールアドレスをご入力ください

所属：

氏名：

E-mail：

調査は終了です ご協力ありがとうございました